

11月 2010 No.832

Contents

- 2 当所の役員・議員が決定
- 4 11月1日から新体制がスタート
- 6 新潟市の政策に対する要望
- 7 ふれ愛古町ほか
- 8 商業部会ほか
- 9 金融業部会ほか
- 10 経営ニュースプラス
- 11 新潟市早期景気観測調査
- 12 会員ねっと workほか
- 14 トレンドリサーチ・医療コラム
- 15 随想砂山・行政からのお知らせ
- 16 会議所からのお知らせ

新潟商工会議所

会報



会頭 敦井 榮一 氏
北陸ガス(株) 代表取締役社長

敦井 榮一 氏を会頭に再選

新潟商工会議所の役員改選のための臨時議員総会が11月1日開催され、敦井 榮一 会頭が満場一致で再選(再選)されました。
また、副会頭には福田勝之氏(再選)、斎藤良人氏(再選)、竹石松次氏、高橋秀松氏の4氏を、専務理事には遠藤修司氏(再選)を選任しました。
さらに常議員46名、監事3名ほか各役員を選任しました(名簿を2頁以降に掲載)。

〈会頭就任挨拶〉
この度皆様方のご賛同をいただき、引き続き、会頭を務めさせていただきますこととなりました。

折しも、来年は当会議所創立115周年という節目の年にあたり、そのような時に、歴史ある新潟商工会議所の会頭という重責を担わせていただきますことは、誠に光栄でありますとともに改めて身の引き締まる思いであります。

これから、4名の副会頭をはじめ役員・議員の皆様方のお力添えをいただきながら、誠心誠意、粉骨砕身努力してまいります所存でありますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、130年余も前に商工会議所を創設した洪沢榮一翁は「地域工商業者の声を集約し社会に訴える」ことを商工会議所の理念とされ、以来、商工会議所はその大きな使命である中小企業と地域の活性化のために様々な取組を行ってまいりました。

しかしながら、今日、長引く景気低迷や急激な円高が進む中で、地域経済や中小企

業は厳しい状況が続いており、先行への不安が高まっております。

こうした経済環境の変化に対応するため、中小企業は、絶え間のないイノベーションを行い、自らの経営を革新していくことが不可欠であり、長い歴史を有する商工会議所は、その原点に立ち返って革新のお手伝いをすることこそが役割であると思っております。

いづれにいたしましても、私はこのたびの役員改選を契機といたしまして、当会議所が多様化する会員皆様のニーズを的確に汲み取り、組織の活性化を図っていくことを与えられた任務として全力で取り組む決意であります。

一方、役員・議員をはじめ会員各位におかれましては、当会議所主催の各種イベントや講演会・講習会など様々な会議所活動へのさらなる参画を熱心に行っていただきたくともに、忌憚のない御意見をお聞かせいただきたいと思います。

今後、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、心からお願ひ申しあげご挨拶いたします。

副会頭 福田 勝之 氏 (株)福田組 代表取締役会長	
副会頭 斎藤 良人 氏 (株)第四銀行 常務取締役	
副会頭 竹石 松次 氏 (株)新潟放送 代表取締役社長	
副会頭 高橋 秀松 氏 (株)高助 代表取締役社長	
専務理事 遠藤 修司 氏	